

消費動向調査（平成 30 年 5 月実施分）
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 5 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、4 月の 43.6 から 0.2 ポイント上昇して 43.8 となり、6 か月ぶりに前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から低下、それ以外の 3 項目「暮らし向き」、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 5 月の消費者マインドの基調判断は、**弱含んでいる**。（据置き、前月からの表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	3 月調査	44.3	(0.0)
	4 月調査	43.6	(▲0.7)
	5 月調査	43.8	(0.2)

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 5 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 5 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「低下する」が 3 か月ぶりに前月から増加、「変わらない」が 2 か月ぶりに前月から増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	3 月調査	3.6	12.1	79.8	4.4
	4 月調査	2.9	11.9	82.3	3.0
	5 月調査	3.2	12.4	82.1	2.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 5 月）は 66.5%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.8%。